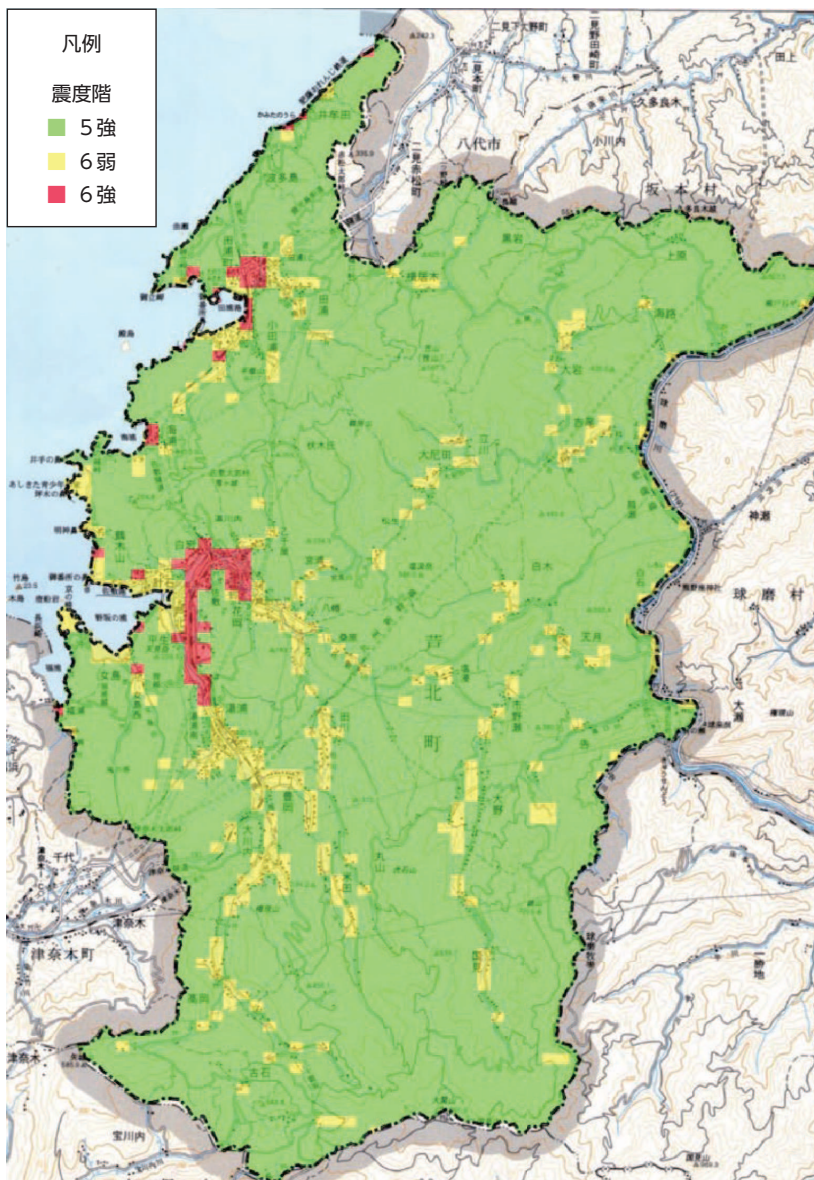


地震揺れやすさマップ



●揺れやすさマップとは

・「揺れやすさマップ」とは、地形や地盤の状況と発生が想定される地震に関する情報(震源の位置・地震の規模)から求めた想定震度を示した図です。
・計算は、約50m四方の「メッシュ」を単位として行っています。ご自宅や普段からよく行かれる場所などについて、想定されている揺れの大きさを確認して下さい。

●想定した震度

・熊本県を北東から南西に横断する「布田川・日奈久断層帯」の中でも中部(甲佐町付近～田浦沖の海上)は、全国的主要活断層の中でも地震発生の可能性が高いと予想されています。
・この「地震防災マップ」では、布田川・日奈久断層帯中部を震源とするマグニチュード8.0規模の地震が発生した場合を想定して、震度と建築物の被害を予測しています。
・他に、全国どこでも起こり得る直下型地震として、マグニチュード6.9を想定した検討を行いました。震度は布田川・日奈久断層帯で起こる地震より低いという結果が出ています。

●マグニチュードと震度の違いは？

「マグニチュード」は、地震そのものの大きさ(規模)を表すものさしです。一方「震度」は、ある大きさの地震が起きた時のわたしたちが生活している場所での揺れの強さのことを表します。
マグニチュードと震度の関係は、例えば、マグニチュードの小さい地震でも震源からの距離が近いと地面は大きく揺れ、「震度」は大きくなります。また、マグニチュードの大きい地震でも震源からの距離が遠いと地面はあまり揺れなく、「震度」は小さくなります。

●各震度の被害状況の目安

震度階級	人の体感・行動	屋内の状況	屋外の状況
1	屋内にいる人の一部が、わずかな揺れを感じる。		
2	屋内にいる人の多くが、揺れを感じる。眠っている人の一部が、目を覚ます。	電灯などのつり下げ物が、わずかに揺れる。	
3	屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。恐怖感を覚える人もいる。	棚にある食器類が、音を立てることがある。	電線が少し揺れる。
4	かなりの恐怖感があり、一部の人は、身の安全を図ろうとする。眠っている人のほとんどが、目を覚ます。	つり下げ物は大きく揺れ、棚にある食器類は音を立てる。座りの悪い置物が、倒れることがある。	電線が大きく揺れる。歩いている人も揺れを感じる。自動車を運転していて、揺れに気付く人がいる。
5弱	多くの人が、身の安全を図ろうとする。一部の人は、行動に支障を感じる。	つり下げ物は激しく揺れ、棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。座りの悪い置物の多くが倒れ、家具が移動することがある。	耐震性の低い木造住宅では、壁や柱が破損するものがある。
5強	非常な恐怖を感じる。多くの人が、行動に支障を感じる。	棚にある食器類、書棚の本の多くが落ちる。テレビが台から落ちることがある。タンスなど重い家具が倒れることがある。変形によりドアが開かなくなることがある。一部の戸が外れる。	耐震性の低い木造住宅では、壁や柱がかなり破損したり、傾くものがある。
6弱	立っていることが困難になる。	固定していない重い家具の多くが移動、転倒する。開かなくなるドアが多い。	耐震性の低い木造住宅では、倒壊するものがある。耐震性の高い住宅でも、壁や柱が破損するものがある。
6強	立っていることができず、はわないと動くことができない。	固定していない重い家具のほとんどが移動、転倒する。戸が外れて飛び出ることがある。	耐震性の低い木造住宅では、倒壊するものが多い。耐震性の高い住宅でも、壁や柱がかなり破損するものがある。
7	揺れにほんろうされ、自分の意志で行動できない。	ほとんどの家具が大きく移動し、飛び出すものもある。	耐震性の高い住宅でも、傾いたり、大きく破損するものがある。